

- 1 教育事業名 「親子で自然体験&絵本の世界」
- 2 ね ら い 本の世界から、様々なことに興味関心をもって想像力をはたらかせ実際に見たり、触れたり、体験したくなるような動機をつくり、渡嘉敷島の自然を活用したプログラムで親子のコミュニケーションや交流を深める機会とする。
- 3 期 日 令和4年12月10日（土）～11日（日）1泊2日
- 4 場 所 国立沖縄青少年交流の家
- 5 募集定員 10家族30名
- 6 参加人数 9家族29名
- 7 参加者内訳 未就学児4名、小学生13名、保護者12名
- 8 講 師 松浦 佑司 氏 （絵本専門士）

9 実施プログラム

12月10日（土）		10:00		11:30	12:00	13:00	13:30	15:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
		フェリーにて泊港出港	本館移動	オープニング入所OR	屋食	準備	読み聞かせ	林道散策 OR ロゲイニング	自由時間	夕食	星空観察	入浴	就寝準備	就寝
12月11日（日）	6:00	9:00	9:30	10:00	13:00	14:30	15:30	16:40						
	朝食 清掃 清掃チェック	海研 場 移動	ビーチ グ コー ミン	野外炊事 (カレーライス)	クラフト 作成	清掃	エン デ ィ ン グ	渡嘉敷港 移動 乗船	フェリーにて渡嘉敷港出港	とまりんにて解散				

10 事業の様子



読み聞かせ①



読み聞かせ②



ワークショップ①



ワークショップ②



自然素材制作物



ロゲイニング



ビーチコーミング



野外炊事



フォトフレーム制作

11 エピソード（参加者の声、アンケートより）

【参加者の声】

① 事業全体を通して

- ・子どもたちの楽しそうな顔がたくさん見られた。
- ・一つ一つのプログラムが充実していて楽しむことができた。
- ・いろいろとやったことのない体けんができてたりして、ワクワクして楽しかった。
- ・友だちがたくさんできてうれしかった。

② 読み聞かせについて

- ・講師の方が本を読んだ瞬間に騒がしかった子どもたちが集中していたので驚いた。
- ・子どもたちが興味をもった本を選んでくれて、興味深く聞いている様子が見られた。
- ・たくさん本があって、まだ見てない本もあったのでうれしかった。
- ・やさしい声で聞きやすかったし、おもしろく読んでくれた。

③ ワークショップ（自然素材を活かした制作）について

- ・読み聞かせで読んだ「ぼい」から勇気づけられて自信をもって制作することができた。
- ・子どもたちの制作する姿がキラキラ輝いていた。
- ・いろいろな自然のざいりょうを使って作ったのでおもしろかった。
- ・読み聞かせのとき「ぼい」で教えてもらったのでウミガメをつくることができた。

④ 野外炊事について

- ・他のファミリーと関わりがもてて楽しかった。
- ・薪や大鍋でのカレー作りは普段はできないので、親子共々いい体験になった。
- ・子どもたちが自主的に活動している姿に感動した。
- ・やさいを切ったり、火をおこしたりするのがむずかしかった。

⑤ フォトフレーム制作について

- ・自分たちで集めた貝殻でフォトフレームが作れてよかった。
- ・時間を忘れて集中して取り組むんでいたので、あっという間だった。
- ・貝がらが大きすぎてくっつかなかったけど、小さい貝がらをくっつけて上手にできた。
- ・お母さんといっしょに作れてうれしかった。

12 担当者所見

（１）成果

- ・絵本専門士による読み聞かせをプログラムに取り入れることで、絵本の楽しさをより深めることができた。
- ・制作活動を見据え絵本の内容を精選して読み聞かせを行うことで、子どもたちが意欲的に制作に取り組む姿が見られた。
- ・親子で、渡嘉敷島の自然を活用した様々な体験活動に取り組むことができた。
- ・野外でのプログラムでは、子どもたちだけでなく保護者の交流する場面が見られ協力して活動する場面が見られた。

（２）課題

- ・一つ一つのプログラムに絵本の内容と関連付けた活動にすると、よりねらいにつながる。
- ・絵本専門士と保護者との時間を設定し、読み聞かせのポイントを講習する場があってもよかった。
- ・読み聞かせと制作活動の時間配分を検討する必要がある。